

往電第一二一號ニ關シ

沈市長ハ其ノ後モ連日市政府ニ登廳執務シ居ルノミナラス
華北大運動會ノ總裁、外國人ノ應接、來往要人ノ饗宴等夏
向ノ青島市長トシテ平素ヨリモ一層多忙ニ見受ラルル處本
十五日朝九時本官ヲ官邸ニ來訪シタル上海軍事件突發以來
在留日本人側ニ於テ示サレタル種々ノ同情ニハ深く感激シ
居ル旨繰返シ謝意ヲ述ヘタルカ本官ヨリ當地ハ勿論北平、
南京等ノ情勢何レモ此ノ際市長ノ留任ヲ餘儀ナクセシムル
モノノ様認メラルルカ實情如何ト問ヒタルニ對シテハ實ハ
蔣、汪、黃三人共大イニ好意ヲ有シ吳レ居ルニ依リ海軍問
題ノ爲ノ市長辭任理由ナクナリタルモ自分ハ今回ノ精神的
打撃ト最近三週間ノ運動不足ノ結果著シク健康ヲ害シ昨今
醫師ノ注射ニテ忍ヒ居ル位ニテ靜養ノ必要アル次第ナリト

6 前滿州國駐日代表の香港訪問事件

743 昭和8年6月21日 在広東吉田總領事代理より
内田外務大臣宛(電報)

和知駐在武官の策動による「帰國華僑旅行宣
伝總隊」の実体について

付記 四月三十日發在広東吉田總領事代理より内田
外務大臣宛電報第二四五号
右策動の概要について

広東 6月21日後發
本省 6月21日後着

第三二三號(極秘)
往電第二四五號ニ關シ

件 一、當地歸國華僑旅行宣傳總隊ナルモノハ中央僑務委員會ト
ハ全然關係ナキ浮浪華僑ノ無力無統制ナル集團ニシテ抗日
宣傳ニ依リ黨部ヨリ資金ヲ得居タルモノナル處一方又當地
陸軍駐在武官ニ近ツキ大亞細亞主義、王道聯盟ヲ唱フルト
稱シテ運動資金ヲセシメ居リ全ク金錢目當ニ行動スルモノ
ニテ遂ニ當地官憲ヨリ解散ヲ命セラレタルモノナルカ舊曆

答ヘタルニ付本官ハ當地トシテハ今ハ最モ肝心ナル時ナレ
ハ日支協力シテ益々山東ノ經濟發展ノ爲奮闘セサルヘカラ
サルニ非スヤト説キ勵マシタル後膠濟鐵路局ニ關シ葛委員
長(目下沈ト同腹中ト看做シ差支ナキカ如シ)ハヨク話ノ解
ル人ト存シ居ルモ從來市政府側ト異ナリ兎角日本人トノ關
係圓滿ヲ缺ク場合多キハ洵ニ遺憾ナリト述懐シテ見セタル
ニ沈ハ地方限リ解決シ得ヘキ問題ハ充分誠意ヲ以テ處理ス
ル様自分カラモ折ニ觸レテ説得ニ努ムヘシト約シ一、二週
間前ニ比レハ餘程從前ノ元氣ヲ回復セルヤニ見受ケラレタ
リ
冒頭往電通轉電暗送セリ
公使ヨリ上海ヘ廣東ヨリ香港ヘ轉報アリタシ

三月二十九日黃花崗七十二烈士堂前ニ於ケル祭典舉行ニ際
シ武官ニ對シテハ亞細亞主義宣傳ヲ誓ヒ乍ラ其ノ實最モ甚
シキ排日宣傳ヲ爲セル次第ハ冒頭往電ノ通ニシテ最近廣東
大亞細亞協會組織ノ如キ素ヨリ彼等一味ノ營利策謀ニ依リ
一時的出任セナルコトハ福州發閣下宛五月十九日附公第二
七八號並廈門發閣下宛五月八日附公第一七四號公信等ニ依
ルモ明カニシテ右公信掲記ノ林振東ナル者ハ嘗テ神戸ニ居
住セル無賴華僑ニシテ鄧宏順ナル者ト共ニ本宣傳隊ノ重要
役割ヲ務メ現在第十九支隊主任ト稱シ居ルモ本隊其ノモノ
カ前述ノ如ク無力ナル貧困華僑ノ集合ニ過キササルニ徴シ林
及鄧ノ爲人モ亦容易ニ推知シ得ヘク即チ和地武官^堀ニ對シテ
ハ大亞細亞主義ヲ云々シツツ福州、厦門等^堀到ル所反日工作
ヲ爲シツツアリ然ルニ近來內地諸新聞カ香港若ハ當地通信
トシテ陸軍駐在武官使喚ニ係ル此ノ種運動ヲ恰モ覺醒セル
有力華僑ノ自發的行動ナルカ如ク報シ居ルハ以テノ外ト言
フヘシ
⁽²⁾ニ六月十三日ノ東京朝日紙上「廣東ニ大亞細亞聯盟運動擡
頭セリ」トノ記事ニ關シ本運動ハ實ニ陸軍駐在武官ノ手製
ニ係リ運動ノ主体ト稱スル歸國華僑團體ノ正体(ハ)前(記)

ノ如ク弗箱ハ愚カ無賴浮浪ノ徒ノ集團ニシテ斷シテ輿論ヲ造成スル力ナキハ勿論越。南國民黨亦少數浮浪安南人ヲ主トセルモノニシテ同黨參加説ハ同黨ニ關係アル當館譯報者胡天民カ本運動資金トシテ武官ヨリ毎月二百弗ヲ貰ヒ(同人ノ自白ニ依ル)策動セルヲ謂フモノナル可ク又留東學會ノ名ヲ連ネタルハ事實ノ有無ハ別問題トスルモ(無名失職ノ士ハイザ知ラス中心勢力者ハ現在ノ處全然關係シ居ラサルヘシ)漸ク培ハレツツアル彼等日本留學生出身者ノ立場ヲ再ヒ窮境ニ陷ラシムル惧アリ決シテ策ノ得タルモノニアラス武官ヨリ參謀本部ニ報セル宣傳「ビラ」ナルモノハ和知武官自ラ前記胡天民ニ其ノ大要ヲ口述翻譯セシメ加藤印刷所ニ於テ印刷セルモノニシテ要スルニ本運動ハ陸軍武官ノ手盛ニナレル武官室並之ニ關係アル極少數人士以外ハ關知セサル次第ニシテ世上ニ何等運動トシテ現ハレサルハ勿論現ハル可キ程有力ナルモノニアラス然ルニ今同和知武官ヨリ參謀本部ニ尤モラシク報告セラレタリトノ新聞記事ニ接シ本省ニ於テモ既ニ同武官ノ報告ノ眞偽ハ充分御存知ノコトトハ存スルモ當方面情勢觀測上何等禍セラルルコトアルヤヲ恐レ茲ニ不取敢眞相電報申進ス

支、北平、南京、滿へ轉電シ香港へ暗送セリ

(付記)

広東 4月30日後発
本省 5月1日後着

第二四五號(極秘)

往電第二三二號ニ關シ

和地陸軍駐在武官ノ妄動ニハ同シ軍部ノ海軍駐在武官スラ些カ呆レ氣味ニテ今次ノ歸國華僑旅行宣傳隊ナルモノノ策動説モ其一例ト認メラルル處本官トシテハ當初之ヲ默殺スル腹ナリシモ香港新聞聯合等ヨリ内地方面ニ電報セラレタル形跡アル外中國側ニ於テモ既ニ右内幕ヲ察知シ公安局ヲシテ該宣傳隊ヲ解散セシムルト共ニ冒頭往電ノ通傳單撤布ヲ開始シタル次第モアリ萬一本邦關係筋ニ於テ本件宣傳隊ナルモノヲ以テ恰モ覺醒セル華僑有力者ノ策動ナルカ如ク推斷セラルルニ於テハ大局ノ方針ニ影響スル處アルヘシト思料セラルルヲ以テ不取敢本件概略ヲ左ニ電報スルコトトセリ

和地武官ハ四月二十三日(舊曆三月二十九日)歸國華僑旅

行宣傳隊ナルモノカ當地七十二烈士墓前ニ於テ典禮ヲ舉行スルヲ機會ニ豫メ同隊首謀者ト稱スルモノ浮。浪。華僑鄧。宏。順。林。振。東。等ヲ買収シテ大亞細亞主義王道政治ヲ高調セル傳單ノ撒布並ニ擾亂ヲ圖ル一方二十二日深更態々海軍武官ヲ往訪歸國華僑宣傳總隊ノ計畫ヲ説明シ斯覺醒セル中國人ノ自發的策動アルコトヲ中央ニ知ラシムル要アリトテ當日撒布スヘキ筈ナル傳單ナルモノヲ提示シ電報方依頼セリ(當館ニモ二十三日同様ノ申出アリタリ)

二、然ルニ當日ノ實際ノ狀況ハ和地武官ノ思惑ト全然相反シ頗ル氣勢昂ラサリシノミカ會場ニ於テ撒布セラレタル傳單ハ何レモ煽動的抗日字句ヲ記載セル最モ露骨ナル排日宣傳ナリシヲ以テ中原海軍武官ヨリ當日ノ傳單ノ實(物)ヲ提示シ和地武官ヲ詰問セル處和地武官ハ大イニ狼狽シ同夜鄧。宏。順。ヲ招致シ約束ノ違ヘルヲ難詰セルニ對シ鄧ハ該傳單ハ一般ニ配布セス會場ニ於テ署名セル者ニ限り之ヲ手交セリト答ヘタル趣ナルカ當日參會者ノ目撃セル所ニ依レハ全然斯カル事實無カリシ由ニテ要スルニ鄧等ニ見事一杯喰ハサレタル形ナリ

三、尙和地武官ハ去ル十九日香港水曜會(同地邦人主腦者ノ

會合)ニ列席シ西南擾亂計畫ヲ説明シタル上同地實業界方面ヨリ之カ氣運醸成ニ努メラレ度シト懇請セル外當地ニ於テモ民會議員ヲ招待シ(出席者ハ數名ニ過キサリシ由)同様事實ヲ説明シ特ニ本件歸國華僑旅行宣傳總隊ニ關シ夫々本社宛電報方依頼セル由ニテ臺銀支店長ハ早速中原武官ヲ事實確メノ爲往訪シ正金支店長ハ本官ヲ來訪事實ノ眞相ヲ質問セルニ付何レモ當地ノ實情ヲ正。視。シ。中。央。ヲ。シ。テ。判。斷。ヲ。誤。ラ。シ。ム。ル。カ。如。キ。報。告。ハ。愼。ム。可。キ。様。申。附。置。ケリ

四、要スルニ和地武官カ歸國華僑旅行宣傳總隊運動ト何等關係有ルヤ否ヤハ暫ク之ヲ措クモ濫ニ浮。浪。日。支。人。ヲ。手。先。ト。シ。テ。或。種。計。畫。ヲ。進。メ。或。ハ。香。港。及。當。地。ニ。於。テ。邦。人。間。ニ。斯。カ。ル。行。動。ニ。出。ツ。ル。カ。如。キ。ハ。甚。タ。輕。率。且。不。穩。當。ト。謂。フ。可。ク。本。官。ト。シ。テ。ハ。勿。論。從。來。ト。テ。モ。常。ニ。海。軍。側。ト。協。調。シ。之。カ。監。視。ヲ。怠。ラ。サ。リ。シ。モ。今。後。モ。猶。斯。ノ。如。キ。行。動。有。ル。ニ。於。テ。ハ。何。等。一。層。有。效。ナル。手。段。ヲ。講。セ。サル。可。カ。ラ。サル。可。シ。ト。存。セ。ラ。ル。不。取。敢

支へ轉電セリ

744 昭和8年6月21日 在広東吉田総領事代理より
内田外務大臣宛(電報)

留東学会の名前を利用した和知武官の策動は同
会による日中関係改善計画に悪影響を及ぼすた
め同武官の自重要望を陸軍省に申入れ方稟請

広 東 6月21日後発
本 省 6月21日後着

第三二四號

往電第三二三號ニ關シ

留東學會ハ從來經費等ノ關係ニテ目醒シキ活動ヲナシ得サ
リシカ日支關係惡化ト共ニ全ク其活動停止セラレ單ナル娛
樂機關トナリシヤノ感アリシ處同會員中心アルモノハ昨年
來屢當方ニ接近種々話合ヲナシ來レルモ時局柄積極的活動
ニ出テ難キ實情ナルヲ以テ本官ハ隨時之ヲ指導スルト共ニ
時機ノ到來ヲ俟テ同會ト緊密ニ結ヒ兩國關係改善ニ資セン
ト準備中ナリシ次第ナルカ冒頭往電ノ如ク留東學會員カ本
運動等ニ參與シ居ルヤニ公然傳ヘラルルニ於テハ彼等ハ
愈々其立場ニ窮シテ全ク手モ足モ出テサルヘク又彼等ノ接
近ヲ利シツツ折角當方面事態改善ヲ圖ラントスル當方ノ努

力モ畫餅ニ歸スル次第ニシテ寔ニ残念至極ニ存セラルルニ
付テハ斯カル事項ノ發表ニ對シテハ其影響スル所ヲ充分考
慮シ大局上慎重ノ態度ヲ持スヘキ様軍側ニ可然御傳達相成
様致度シ
滿、支ニ轉電セリ

~~~~~

745 昭和8年6月23日 内田外務大臣より  
在広東吉田総領事代理宛(電報)

和知武官による鮑觀澄前滿州国駐日代表の広  
東方面派遣に関し陸軍側に注意喚起および同  
省より同武官に対し行動自重方訓令について

別 電 六月二十三日発内田外務大臣より在広東吉田  
総領事代理宛第二一号  
右陸軍側訓令

本 省 6月23日後9時0分発

第二二號(極秘)

貴電第三二三號及第三二四號ニ關シ

陸軍側ノ注意ヲ喚起シ置キタルカ一方陸軍側ヨリ滿洲國ハ  
元駐日代表鮑觀澄(最近本邦滯在中ナリキ)ヲ廣東方面ニ派

遣シ支那側要人等ニ對シ同國ノ實情ヲ紹介シ日滿提携ノ  
機運ヲ醸成セシムルコトナリタル趣同人ハ一兩日前廣東  
ニ向ケ出發セル由内報アリ(右ニ關シテハ豫メ當方ニ相談  
ナカリシ次第ナリ尙ホ本件ハ和知少佐ノ畫策ニ基クモノニ  
非サヤト推セラル)然ルニ當方ニテハ此ノ際鮑カ右工作ニ  
從事スルコトハ貴地方面ノ狀況、鮑ノ性格等ニ顧ミ何等利  
益ナキノミナラス却テ面白カラサル結果ヲ招來スルノ虞ア  
リト思考シ軍部ノ注意ヲ喚起シタル処軍部ニ於テハ和知少  
佐ニ別電第二一號ノ趣旨ヲ電報セルコト等ヲ以テ種々弁明  
シ居ル次第ナルニ付右御含ニテ可然御措置相成度  
尚ホ鮑ハ変名シ居ル筈ナルカ何レノ途本件ハ絶対ニ極秘ニ  
付セラレ度念ノ爲メ  
別電ト共ニ滿、支、北平、南京ニ轉電セリ香港ニ暗送アリ  
度

746 昭和8年6月24日 在広東吉田総領事代理より  
内田外務大臣宛(電報)

鮑觀澄の行動は香港限りとし広東は絶対に訪  
問しないよう陸軍側に申入れ方稟請

広 東 6月24日後発  
本 省 6月24日後着

第三三一號(極秘)

貴電<sup>(1)</sup>第二二號ニ關シ

當地目下ノ實情ハ累電ノ通り實力派ハ表面ハ兎ニ角内實ハ

件 (別 電)

十 雜 第二二號(極秘) 本 省 6月23日後9時0分発

一、鮑觀澄ハ支那側要人等ニ滿洲國ノ實情ヲ紹介シ日滿提携

蒋介石ニ傾キ來り最近長袖派ノ言論ヲモ適度ニ抑へ居ルカ如ク思ハルル節有り新聞紙上ニ於テモ抗日工作ノ記事頓ニ減退シ世上漸ク平靜ニ向ハントシ此ノ分ニテ暫ク續カハ北支ニ於ケル時局好轉ニ伴ヒ當地方ニ於テモ何等轉向ノ機ヲ得可シト存セラレ目下ノ處ハ支那側ノ神經ヲ刺戟セサル様且新聞ニ何等宣傳材料ヲ與ヘサル様力メテ局面ノ平靜ヲ持續スルヲ第一トシ然ル可キ機會ヲ見テ轉向助成ヲ計ル可キモノト存セラル

然ルニ往電第三二三號ノ如キ針小棒大モ極マル發表ハ無用ニ支那側ノ神經ヲ刺戟スルノミナラス當事者ノ當方ニ對スル惡感ヲ唆リ將來ノ計畫ニ禍スルハ全ク一種ノ破壊的行動以外何者ニモ非スシテ本官ノ頗ル迷惑且遺憾トスル所ナリ然ルニモ拘ハラス今回又冒頭貴電御來示ノ如キ計畫アルニ於テハ徒ニ無用ナルノミナラス更ニ禍根ヲ將來ニ貽スコト無キヤヲ深ク恐ルル次第ナリ

鮑力如何ニ要人ト談合スルヤハ暫ク措クモ同人カ當地ニ於ケル行動ニ關シ鮑並和知力假ニ如何ニ注意周到ナル人物ニシテ且ツ極秘裡ニ之ヲ爲ストスルモ支那側ト緊密ナル接觸ヲ試ムル限り(暴露セサルコト絕對ニナシト云フ可カラス

和知武官ハ廿五日上海ヨリ歸任セルモ當館ニ顔出シモセス在留民間ニハ上海ニ於テ拙電第三二三號ノ件ニ付須磨書記官ヨリ此ノ種緊要事項ハ拾置キ難キヲ以テ是非努力セラレ度シト全幅ノ支持ヲ得タル旨言觸ラシ居タル由ナル處廿八日本官ニモ亦中原海軍武官ニモ一片ノ通知モ無ク突然香港ニ赴キタリ

右和知武官ノ香港行並貴電御來示ノ鮑觀澄本邦出發日取ニ照ラシ鮑ハ三十日淺間丸ニテ香港着ト察セラルルニ付廿九日午後海軍武官同道小黑書記生ヲ香港ニ遣ハシタリ  
香港ニ於テハ鮑ニ對シ本官ノ意嚮トシテ拙電第三三一號ノ趣旨ニ依リ廣東訪問ヲ避ク可キ様小黑ヨリ申入レサシメ海軍武官ヨリモ同様ノ意見力説ノ筈

右ニ付豫メ陸軍側ト打合せ置度キ心組ナリシ處陸軍側カ冒頭貴電ニ依レハ中央ヨリ訓令アリタル趣ナルニモ拘ラス直接海軍側ニ對シ殊更ニ非協調的態度ニ出ツル以上已ム無キ處置ニシテ今後ト雖モ陸軍ノ態度ニ變化無キ限り當方トシテハ海軍側ト協調隨時適當處置ニ出ツ可シ

支、北平、南京、滿へ轉電シ香港へ暗送セリ

支ヨリ上海へ轉報アリ度シ

事一度現ハレンカ反對派ノ宣傳擴大策トナリ計畫ノ齟齬ハ素ヨリ折角平靜ニ向ヒツツアル世評ヲ逆轉セシメ將來ニ於ケル時局好轉ノ機ヲ遠ク逸スル恨アリ

(一)軍部ニ於テ當方ニ事情ヲ確カムルコトナク一存ヲ以テ事茲ニ出テタルハ洵ニ遺憾ナル處置乍ラ既ニ本人出發ノ上ハ已ムナキ次第ナルヲ以テ鮑ノ目的ニシテ貴電ノ如クナルニ於テハ目下ノ處香港ニ於テ行動スル方或ル意味ニ於テ却テ便利ニ付同人ヲシテ香港限りニテ廣東ニハ絕對足ヲ入レシメサル様陸軍側ニ然ルヘク御申入相成様致シタシ  
支、北平、南京、滿へ轉電シ香港へ暗送セリ

747 昭和8年6月30日 在広東吉田総領事代理より 内田外務大臣宛(電報)

館員を香港に派遣し鮑觀澄に広東訪問を避けるよう海軍武官とともに勧告の予定について

広東 6月30日後発  
本省 6月30日後着

第三三六號(極秘)  
貴電第二二號ニ關シ

748 昭和8年7月2日 在広東吉田総領事代理より 内田外務大臣宛(電報)

香港における鮑觀澄と当館館員との会談内容について

広東 7月2日後発  
本省 7月2日後着

第三三八號(極秘)  
往電第三三六號並香港發閣下宛電報第八二號ニ關シ

二日歸任セル小黑ノ報告大様左ノ通

一、鮑(川村ト偽名)一行ハ日本語通譯何一之(軍政部部員、昭和五年京都帝大卒)女秘書及從者ノ四名ナル處鮑ハ約一ヶ月香港ニ滞在ノ旨語り居タリ

二、滿洲國東京代表ヲ辭シタル鮑ハ直ニ天津ニ赴キ政治的活動開始ノ意嚮ナリシモ新京ニ歸ルヤ和知武官ノ要請ニテ突如南下ヲ決定セル由

三、鮑ノ談話

(イ)日滿議定書締結セラレテヨリ自分等ノ活動ニハ自信附キ強氣トナリテ多少ノ危險等ハ意ニ介セヌ今回モ亦同様ナルカ但シ支那側要人ニシテ自分等トノ會談ヲ一大冒險ナ

リト考フルニ於テハ飽迄極秘裡ニ是ヲ行フヘシ

(○)自分ハ支那トノ良好關係設定ノ順序ハ結局一地方ヲ逐次固メ行ク方法ヨリ寧ロ支那全局ヲ左右シ得ル勢力ト結フ事ヲ進ムルノ優レルヲ信シ居リ大局ヲ觀望スルニ西南側(兩廣實力派ヲ指スモノノ如シ)コソ略之ニ該當スル政權ナルヤニ考ヘラルルヲ以テ(北支ノ連中ハ相手ニナラス)今回ノ南支ノ有志ト會談ノ際右様心組ニテ彼等ノ脈ヲ引キ度所存ナルカ自分ノ知レル白崇禧關係ノ者ヨリ談合ヲ試ムヘシ

(ハ)上海ニ一泊ノ節廣西派ノ一味ヨリ「西南側文治派ハ過般來暗中氣勢ノ昂揚ニ努メ中央ヨリ斷然分離ノ運動ヲ目論ミ具體的運動ニ移ル風サヘ見ヘ始メタルモ陳濟棠一派ノ實力派ハ却テ暗ニ蔣介石ト提携シ居ル關係上之ヲ喜ハス且ツ此ノ際内亂メキタル策動ハ到底輿論ノ容レサル處ナルニモ顧ミ荏苒今日ニ及ヘル次第ナル旨」ヲ聞カサレタリ

四、小黑ヨリハ鮑ニ對シ現下ノ西南政局、一般排日貨狀況等ヲ説明シタルカ鮑ハ緊張裡ニ傾聽シ其ノ間種々質問ヲ試ミ尙各國ト西南勢力ノ關係、西南側武器入手經路及日本側ト

(一)十日朝香港ヨリ歸廣セル中原海軍武官ヲ通シ鮑觀澄ヨリ出來得ル限り早目ニ本官ニ面會シタキ旨申越ノ次第モアリタルニ付十一日本官赴香ノ上鮑ト會談シタルカ同人ノ談話要領左ノ通

件 十 雜  
イ、自分今次南下ノ目的ハ自分カ西南一部要人ト舊知ノ間柄ナルヲ幸ヒ滿洲國建國ノ事情並ニ其ノ現狀ニ付此等ノ人々ニ充分説明シ諒解ヲ求ムルニアル處未タニ此等要人連ト近ツク機會ヲ得ス何人トモ會談シ居ラス  
ロ、李宗仁白崇禧等トハ昵懇ノ間柄ナルモ今次南下ニ付事前並ニ事後ニ於テモ何等通報シ居ラス又此ノ際通報スルハ却テ不良ノ結果ヲ招來スヘシト存シ居レリ胡漢民ハ知ラサルモ同人秘書ノ一人ト懇意ナルヲ以テ彼ヲ通シ徐ニ漢民ニ話シ入ルル様致シタキモ可成り暇取ルヘク且漢民如キ定見ヲ(有)スル人ニ節ヲ變ヘシムルハ容易ニアラスト存セラレ又其他西南要人ニハ今ノ處格別ノ手掛ナシハ、豫テヨリ西南抗日氣勢ハ相當濃厚ナルヘキヲ推察シ居タルモ當地ニ於ケル十日間ノ見聞ニ依リ其ノ豫想以上ニ激シキモノアルニ聊カ喫驚セリ  
(2)自分ハ上海程度ノ雰圍氣ト思ヒ居タルカ同地ヨリモ遙カ

支那要人ノ來往現況ヲ尋ネ居タルカ總テヲ聽キ終リ鮑ハ廣東ニ於ケル排日狀況等ハ未タ斯ノ如ク甚シキヤト嘆シ居タリ

兵鮑ハ前顯ノ豪語ニモ似ス一時落着キタル邦人旅館ニ支那人「ボーイ」ノ有無ヲ密ニ小黑二問ヒ實ハ一昨年天津芙蓉館ニテ支那人「ボーイ」ノ爲厄ニ遭ヒタリトテ之ヲ物語リ氣遲レノ風ヲ示シ居タリ尙鮑ハ廣東ニハ來ラサル意向ナル由ニテ出來得可クムハ香港ニ於テ本官ニ面談シ度旨述ヘ居タリト

支、北平、南京、滿ヘ轉電シ香港ヘ暗送セリ  
支ヨリ上海ヘ轉電アリ度シ

749 昭和8年7月12日 在廣東吉田總領事代理より  
内田外務大臣宛(電報)

香港での鮑觀澄との會談内容について

廣東 7月12日後發  
本省 7月12日後着

第三五五號(極秘)  
往電第三三八號ニ關シ

ニ不良ナルコト當地ニ參リ初メテ承知シタリ  
ニ、從テ自分ノ使命タル要人ニ對スル宣傳乃至諒解ハ西南方面ニ在リテハ未タ其ノ時機ニ非スト思考セラルル依テ自分トシテハ當方ヨリ積極的ニ近ツキ行ク意思更ニ無ク先方ヨリ申出アル場合ニ限り會談スル事以外方法無カル可シ云々

(二)鮑ハ南下ノ當初ハ相當ノ希望ヲ抱キ居タルカ爾來當地方情勢靜觀ノ結果右ハ北方トハ全ク趣ヲ異ニシ鮑ノ西南側要人ニ對スル關係程度ニテハ容易ニ近ツキ難ク手ノ出シ様無キ現實ヲ漸ク了解セルヤニ見受ケラレタルヲ以テ本官ハ西南ノ一般情勢ニ付簡單ニ説明シ鮑ノ自重ヲ希望スル旨アツサリ述ヘタルカ鮑ハ斷シテ輕々ニ行動セサル可キ旨繰返シ述ヘ居タリ

(三)然ルニ蘆野領事ノ香港正金側ヨリ得タル情報ニ依レハ相當纏マリタル金額最近和知武官宛送付セラレ居リ(此ノ點同領事ヨリ詳報ノ筈)鮑一行ノ一、二ヶ月ノ生活費トシテハ餘リニ過大ニシテ何等別途ニ使用セラルル事疑無キ處鮑自身ハ昨今自重靜觀カ最善ノ策ナルヲ知レルカ如キモ周圍ニ於テ右金額ヲ入手シタル上ハ如何ニ之ヲ使用ス

可キヤ注意ヲ要ス可シト存セラル

尙和知武官ハ昨今主トシテ香港ニ在リ時々歸廣シ居レリ  
支ヨリ上海へ轉報アリ度シ

支、北平、南京、滿へ轉電シ香港へ暗送セリ

750 昭和8年7月12日 在香港蘆野(弘)總領事代理より  
内田外務大臣宛(電報)

鮑觀澄香港訪問の目的達成はほぼ不可能の状  
況について

香港 7月12日後発  
本省 7月12日後着

第九一號(極秘)

往電第八二號ニ關シ  
其ノ後鮑觀澄ハ當地某邦人留守宅ニ假寓シ嚴ニ人目ヲ避ケ  
行動シツツアルカ当初ノ豫定ニテハ同人カ廣東派ニ舊知多  
キヲ幸ヒ之ヲ頼リニ先ツ同派ノ將領ニ面會不取敢了解ヲ求  
メ次テ他ノ有力政治家實業家等ニモ面接シタク滿洲國獨立  
ノ趣旨現狀等ヲ説明スル筈ナル趣ナリシ處十日本官ノ質問  
ニ應シ鮑ノ語ル處ニ依レハ同人ノ豫テヨリ呢懇ニシテ主ト

支、北平、滿へ轉電シ廣東へ暗送セリ

支ヨリ南京へ轉報アリタシ

751 昭和8年7月14日 在廣東吉田總領事代理より  
内田外務大臣宛(電報)

和知武官への多額の送金を滿洲国事情啓発へ

流用誘導方意見具申

廣東 7月14日後発  
本省 7月14日後着

第三五八號(極秘)

往電第三五五號ノ(三)ニ關シ

一、和知武官等ニ於テ該金額ヲ入手セル上ハ鮑觀澄ノ心境如  
何ニ拘ラス恐ラク之ヲ何等當地方面ニ於テ使用スヘキハ想  
像シ得ル處同武官モ胡天民處刑(往電第三三七號)以來當地  
ノ危險ヲ覺レルカ如ク昨今ハ全ク香港ニ於テ策動シ居リ從  
テ本件金子モ同地ニ於テ使用セラルルモノト大体想像シ得  
ヘシト雖同武官等ニ於テハ累次往電ノ通其從來ノ遣口ニ見  
テ該金ヲ以テ禍根ヲ將來ニ貽スカ如キ施策ニ出ツルナキヲ  
保セス憂慮ニ堪ヘサル所ナリ

シテ同人ノ爲幹旋(ノ)筈ナル廣西銀行理事チンコウゲンノ  
意見ニテハ目下ノ情勢ニテハ尙西南ノ要人連ニトリ鮑ト會  
見シタル事ヲ人ニ知ラルル時ハ先方トシテ返スヘカラサル  
不利ヲ招ク次第ナレハ彼等ハ非常ニ躊躇スヘキヲ以テチン  
ハ今尙鮑ノ來着セル事スラ同派ノ要人ニハ秘シ密カニ彼等  
ノ意嚮ヲ探索中ニテ準備出來次第当初ノ目的ニ向ツテ進ム  
由ナルカ右ノ事情ニテ同人ハ着香以來十日餘ナルモチン外  
二名ニ會見シ居ルニ過キス尤モ同人ハ時機到レハ目的ヲ遂  
行シ得ル事ト樂觀シ居リ八月末迄ニハ滿洲ニ歸ル用務有ル  
由ニテ八月中頃迄滞在ノ由ナルカ本官ノ見ル處ニテハ當方  
面ノ形勢ハ前記程度ノ鮑ノ目的スラ之カ達成ノ爲ニハ未タ  
時機熟セス又彼ニ其ノ力量有リヤモ疑ハシキノミナラス彼  
ノ滞在力追々外間ニ知ラルルニ至ラハ却テ逆宣傳ニ利用セ  
ラレ我ニ多大ノ不利トナル處有ルニ付本官トシテハ同人カ  
成ルヘク早日ニ見切ヲ附ケ當地ヲ引揚クル様指導スル考ナ  
リ  
尙取引銀行ヨリ内密ニ聞ク所ニ依レハ鮑到着直前和地武官  
ニ某方面ヨリ可成リ多額ノ金額(十萬見當ト推セラル)送金  
アリタリ何等御參考迄ニ申添フ

ニサリトテ本官ニ於テ武官ノ策動ヲ阻止スルカ如キ措置ニ  
出ツルハ策ノ得タルモノニアラサルヲ以テ寧ロ此ノ際當方  
ヨリ進ンテ右金額ヲ生カシ建設の方面ニ之ヲ使用シテ滿洲  
國事情紹介並ニ宣傳ニ努メシムルカ如キ策ニ出テシムル様  
誘導シ禍ヲ未然ニ防クコト可然ト存セラルル處右ニ付最モ  
時宜ニ適スル方法トシテ往電第三〇二號所報ノ劉子平トノ  
話合ヲ想起セル次第ナリ  
三、<sup>(2)</sup>即チ該金ノ相當巨額ナルニ鑑ミ現在專ラ香港ノ各漢字新  
聞檢閲ノ衝ニ當リ居ル劉子平ニ充分了解ヲ付ケ差當リ該金  
ノ一部ヲ利用シテ劉ヲ通シ鮑觀澄ノ使命ニ副フ如キ趣旨ノ  
記事言論ヲ徐ニ放送スル滿洲國最眞ノ一漢字新聞ヲ設ケシ  
メ斯クテ劉ヲシテ漸時各新聞ニ親日親滿の傾向ヲ持チ來ラ  
シムル様措置セシムルコト然ルヘク右ニ付テハ勿論香港領  
事ニ於テ隨時劉ヲ指導措置スル事ト致シタシ  
四、就テハ和地武官等ニ對シテハ金子入手ノ事實ハ全然知ラ  
ヌ事トシ大体右様「ライン」ニ依リ本官ハ先ツ香港領事ト  
協議ノ上對滿感情融和ノ一方策トシテ鮑並ニ和地武官等ニ  
一應提議ノ上協議ヲ進メ然ル後劉トノ談合ニ入り度キ心組  
ナリ

支へ轉電セリ

752 昭和8年8月4日 在香港盧野總領事代理より  
内田外務大臣宛(電報)

鮑觀澄香港出發について

付記 七月十九日發在広東和知(鷹)駐在武官より

植田參謀次長宛電報広第五三一號

鮑觀澄と李宗仁の會談實現について

香港 8月4日前發  
本省 8月4日後着

第一〇三號(極秘)

往電第一〇二號ニ關シ

鮑觀澄四日午前零時解纜ノ秩父丸ニテ出發セリ尙同船ニハ陸軍少佐長勇及一日佛國船 Atlas 號ニテ何レヨリカ來航セル甘粕元大尉(内藤政雄ト變名)モ夫々神戸及擴濱<sup>横濱</sup>ヘ向ケ乗船セリ

支、滿へ轉電シ、廣東へ暗送セリ

支ヨリ南京へ轉電シ、上海へ轉報アリ度シ

(付記)

広 東 7月19日後發  
參謀本部 7月19日後着  
廣第五三一號(極秘)

「鮑觀澄ハ小官ト共二十七日午後九時ヨリ香港千歲「ホテル」ニ於テ李宗仁ニ會見シ約二時間ニ亘リ滿洲國成立ノ由來、現狀並將來等ニ関シ十分ノ理解ヲ與フル所アリタリ

續イテ李ハ東亜新局面打開ノ爲其所信ヲ披瀝シタル上吾人ハ世界的眼光ト智識トヲ基調トシ日支合策ニ依リテ東亜ノ支那ヲ救フヘク先ツ速ニ原則ヲ案出シ其原則ニ準據シ兩國ノ爲スヘキ目的精神ヲ明ニシ之ニ依リテ一切ノ問題ヲ解決セサルヘカラスト結論シ早速右原則ノ案出ニ着手スル旨申出タリ

三、李宗仁ト鮑觀澄トノ會見ハ日滿支提携實現上極メテ有意義ナルモノニシテ抗日激化ノ當地方ニ於テ小官トノ會見ナラハ未タシモ滿洲國人鮑觀澄トノ會見ヲ何等躊躇スル事ナク承諾セルハ李カ如何ニ東亜全局ノ新局面打開ノ爲メ熱烈ナル態度ヲ持シアルヤヲ証明スルニ足ルト云フヘ

シ

753 昭和8年8月5日 在香港盧野總領事代理より  
内田外務大臣宛(電報)

鮑觀澄は香港において何ら目的を果たせず出發について

香港 8月5日後發  
本省 8月5日後着

第一〇四號(極秘)

往電第一〇三號ニ關シ

件 鮑觀澄來着前和地<sup>和知</sup>少佐ノ本官ニ語リタル處ニ依レハ鮑ハ滯香中其ノ舊知タル李宗仁、白崇禧等廣西派ノ要人ニ面接シ次テ特ニ親交アル陳コーゲン(往電第九一號參照)及陳廉伯ニ於テ夫々財界並實業界ノ有力者ノ會合ヲ鮑ノ爲ニ催サルル手配整ヒ居ル趣ナリシカ事實ハ往電第九一號及廣東發貴大臣宛電報第三五五號ノ通ノ事情ニテ同人ハ遂ニ舊知タル廣西派ノ要人ニ面接スルコトサヘ叶ハス況ヤ他ノ一般有力者ト會談スルカ如キハ思ヒモ寄ラス遂ニ滯在月餘ノ間有力者トテハ一人モ面會セサリシモノノ如ク同人又餘リ小心

翼々タルヨリ和地<sup>和知</sup>モ遂ニ見切ヲ付ケ豫定ヲ切上ケ出發セシムルコトトシタルモノト認メラル出發前鮑トノ會談ヨリ本官ノ得タル感觸ニ依レハ鮑ハ當方面ト滿洲國トハ比較的縁遠ク一般民衆ハ事實左迄滿洲問題ニ關心シ居ラス政治家及新聞紙ノ唱フル抗日失地回復ノ口號モ南京政府虐メノ對内的意義ノ分子ノ優レルコトヲ感知シ

(2) 滿洲國トシテハ強ヒテ急キ西南ノ了解ヲ求ムルノ必要無キ事ヲ自覺スルニ至レルモノノ如ク今後當方面ニ於ケル運動ニ付テハ何等腹案有リヤヲ問ヒタルモ何等考ヘ居ラスト答ヘ又相當信賴スヘキ一支那人ニテ當地ニ滿洲國ノ機關新聞設置方ニ關シ提言シタル者有ルモ之ニモ一顧ヲモ與ヘサリシカ如シ(最近漢字新聞關係者ニシテ恐ラク金ヲ引出サンカ爲日本側ト接觸ヲ求メ來ル者相次テ有リ廣東發貴大臣宛電報第三〇二號劉子平ノ如キモ其ノ一ニ非サヤト推セラ

ル)又本官カ鮑ニ對シ陳コーゲンニ於テ何等カ鮑ノ目的ノ爲ニ盡力シテ吳ル譯ニ行カスヤト尋ネタルニ陳ハ本務忙カシトテ謝絶セル趣ナリ(事實同人ハ目下政治ヲ離レ専心銀行業ニ従事シ居ルモノノ如シ)右ノ如ク鮑ノ渡來ハ當初和地<sup>和知</sup>武官ノ畫策セルカ如キ目的ノ爲ニハ何等效無カリシモ

滿洲國ノ一要人カ當地ニ來リ直接西南ノ空氣ヲ体得シタル事ハ將來ノ爲無意義ニ非サルヘシト存セラル  
前電ノ通り轉電郵送セリ  
支ヨリ南京、上海へ轉報アリタシ

754 昭和8年8月5日

在広東吉田総領事代理より  
内田外務大臣宛(電報)

今後滿洲国側において中国側との提携工作を

計画の場合は我が方外務省に相談するよう鮑

觀澄に注意喚起について

広 東 8月5日後発

本 省 8月5日後着

第三八一號(極秘)

三日香港ニ於テ鮑觀澄ニ面會同人出發ニ際シ當方面ニ對スル印象ヲ質シタルニ大要左ノ通り語リタリ

一、當地ニ滯在中政界ノ要人トハ全ク會見セス其ノ他ノ方面ニ於テモ主トシテ間接ニ(主ニ陸軍側謀者ヲ通シテノ意ナルカ如シ)意見ヲ聞キタルノミニシテ直接面晤セルハ僅ニ一、二名(陳コウゲン等ヲ指スモノナルヘシ)ナルカ滿洲國

注意スルト共ニ本官ノ希望トシテ本邦並滿洲國當路者ニ當方面ノ事情説明ニ當リテハ總テ事實有リノ儘ヲ最モ忠實ニ報告シ中央ヲ「ミスリード」スルコトナキ様注意アリ度シ尙今後滿洲國側ニ於テ何等今回ノ如キ計畫アル場合ニハ日本外務省側ノ意見ヲ徵スルコト最モ肝要ニシテ然ラサルニ於テハ徒ニ勞多クシテ功少ク又最善ノ時機ニ最善ノ手段ヲ行フコト難カルヘシ此ノ點ハ貴下ノ今回ノ經驗ニテ充分御了解ノコトト思フモ爲念申添ユル旨述ヘタルニ鮑ハ今回ハ全ク突如軍部ヨリ話アリタル爲外務側ニ計ル暇ナカリシ次第ニテ今後ハ萬事御相談スルコトトスヘシト聊カ恐縮ノ體

ニ付テモ漸次了解ヲ得ラルヘシトノ印象ヲ得タリ  
三、自分ノ觀察ニテハ陳濟棠モ最近漸ク反蔣ニ傾ケルモノノ如ク(此ノ點格別ノ根據アルニアラス)廣西ハ廣東ニ賴ラサルヘカラサル關係上李濟深ノ策動ニ拘ラス濟棠ト離ルルトナカルヘシ

三、陳銘樞、李濟深ハ香港ニ於テ毎日會談シ居ルモノノ如ク何レモ不遇ナル現状カ兩人ヲ互ニ結ハシメタルモノニ過キサルヘシ

四、<sup>(2)</sup>當地方ノ排日、排滿ハ聲ハ大ナルモ一般民衆ハ餘リ關心ヲ置カサルモノノ如ク大シテ心配スルニ當ラス(此ノ點ハ先般來ノ同人ノ觀察ト稍異リ居ルモ折角香港迄來レル同人トシテ何等土産ナシニモ歸ラレス此ノ種言辭並前記(一)ノ將來ノ見込等ヲ土産トスル積リナルヘシ)

右ニ對シ本官ハ一應本官ノ觀察ヲ述ヘ殊ニ廣東ノ地ヲ踏マシテ濫リニ當地方面ノ排日情勢ヲ云々スルノ危險ナルヲ告ケ現ニ同人カ香港ニ於テスラ何人ニモ面晤シ得サル事實並大連ヨリ香港支那銀行ヲ通シテノ同人宛ノ圓爲替力支那銀行ニ於テ日本金ナル故ヲ以テ容易ニ支拂ヲ承諾セサリシ事實等ハ此ノ間ノ消息ヲ最モ雄辯ニ語ルモノニアラスヤト

ニ見受ケラレタリ

要スルニ同人カ相當ノ期待ト自負トヲ以テ南下セルニモ拘ラス當地方ノ情勢案外ニ不利ニシテ何等活動シ得サリシハ目下ノ時局ニ鑑ミ寧ロ幸ナリシト云ヒ得ヘク殊ニ西南ノ實情ヲ目ノ當リ觀察シ外務省側主張ノ通り自重ヲ要スヘキモノアルヲ悟リタルハ滿洲國當路者ノ今後ノ對西南政策決定上相當ノ效果アルモノト存セラル御參考迄  
支、北平、南京、滿へ轉電シ香港へ暗送セリ  
支ヨリ上海へ轉報アリタシ